



くまもとの家庭教育

文責：社会教育課
課長 福永 公彦

○熊本県家庭教育支援関係者フォーラム・子どもの読書活動推進フェスティバル開催！



【功労者及び優良団体の皆様】

令和7年2月8日、くまもと県民交流館パレアにて県内の家庭教育支援の推進に継続して取り組んでいただいた個人11名と3団体の表彰を行いました。

表彰式では、教育庁市町村教育局長から表彰状の授与の後、放課後子供教室での学習活動、「親の学び」講座の実施、青少年の健全育成など、それぞれの活動に込める子どもたちへの思いや、今後の抱負について、お一人ずつお話しいただきました。



【講話を聴く参加者の様子】

今年度は「子どもの読書活動推進フェスティバル」を同時開催し、大阪府泉大津市立図書館「シープラ」の河瀬 裕子館長から、公立図書館における環境づくりの工夫や、子どもを本好きにするヒントについて講話いただきました。

また、「大津町 本とお話の会」によるブラックシアターやフリーアナウンサー 村上 美香 氏による絵本の読み聞かせなど、子どもから大人まで読書の魅力を再発見する素晴らしい機会となりました。



○「親の学び」講座～複数回の実施でつながりを深めよう～

2月6日（木）に相良村の暁保育園において「くまもと『親の学び』講座」が実施されました。暁保育園では、園の行事に併せて年間5回の「親の学び」講座を計画されており、進行役が毎回いろいろなプログラムを実施しています。今回はその5回目でした。

当日は、保護者や先生合わせて7人が参加され、アイスブレイクの後、いくつかのテーマに沿って「子育てあるあるトーク」を行いました。参加された皆さんは、日頃抱いている子育てに対する喜びや悩みを共有し、身近に子育ての「仲間」がいることに気づき、前向きな気持ちを高めることができた時間となりました。

暁保育園と同じ運営系列の章鹿倉保育園（山江村）でも、年間5回の「親の学び」講座を計画・実施されており、どちらの園でも、繰り返し講座を受けることで、より一層保護者同士のつながりづくりや子どもとの接し方について学びの機会になっているとのことでした。（原稿作成：球磨教育事務所）

【参加者の感想】

- ・子育てに関して共通の悩みがあり、話すことでスッキリしました。
- ・他の家庭もどこも一緒なんだなと思い、ほっとしました。



【子育てあるあるトークの様子】

★☆☆ 熊本県社会教育課より ☆☆☆

今回受賞された皆様の取組については、県教育委員会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

【お問合せ】熊本県市町村教育局社会教育課 家庭教育支援班

TEL：096-333-2697

E-mail：shakaikyoku@pref.kumamoto.lg.jp

